

パネルディスカッション

西陣織会館 3階ホール 2時～3時30分

「今を生き抜く連携のチカラ」

変化と多様性の時代、中小企業の活力は連携のチカラから。

樋爪 保 氏

(四条紫米会商店街振興組合
情報化システム委員会委員長)

KICSという商店の情報化事業を推進する団体のお世話役をしております。現在、1300店舗が加盟されていますが、日本最大の組織体へ成長できました。この創設、発展に際し、最初に率先して賛同、参加したのは、多くの伝統ある老舗のご主人でした。特に京都ならではのことで、

若林 靖博 氏

(京都伝統工芸協議会会長・京都府仏具協同組合理事長)

仏壇は、木地師、木彫師、漆塗師、箔押師、蒔絵師、鋳師など、各種の高度な技術を束ねてまとめてゆく総合伝統産業。現代でいえば自動車産業のようなもの。現代でも寺院の内陣の内装仏具一式を扱う、コーディネーター役を發揮します。(株)若林佛具製作所は初代卯兵衛が天保元年(1830年)に創業してより176年の老舗。店内には様々な仏具が数多く展示されています。京都伝統工芸協議会の会長として伝統工芸の異業種連携に奮闘中。

深尾 昌峰 氏

(きょうとNPOセンター 常務理事・事務局長)

滋賀大学大学院教育学研究科修了。1998年7月にきょうとNPOセンター設立と同時に事務局長就任。現在は常務理事・事務局長として、市民活動の基盤整備に奔走している。現在、京都市市民活動総合センターセンター長、京都府参与(協働推進担当)なども兼務している。



青木 豊彦 氏

(東大阪市モノづくり親善大使)

父親から引き継いだ農業機器や建設部品加工が主業務だった会社から、航空機関連事業に進出し米ボーイング社認定工場となる。人工衛星打ち上げをめざす東大阪宇宙開発協同組合元理事長。いまのニッポンが忘れかけている、夢を持つこと、夢に向かって行動することの大切さを実践し続ける。

伊庭 節子 氏

(八島おかみさん会会長)

舞鶴市八島おかみさん会長。舞鶴市八島商店街の家庭日用品店の主婦。商家に生まれ育ち、子供の頃はサラリーマン家庭に憧れたが、結局は大学卒業と同時に実家にUターンし、家業を継ぐ。平成3年4月、商店街の主婦による八島おかみさん会を結成。衰退傾向の進む商店街を商店街の立場から盛り上げたいと様々な活動を続けている。

西口 光博 氏

(龍谷大学 経営学部教授)

広辞苑によると「連携」とは「互いに連絡を取り合せて、物事を行なうこと」。同じく「組織」とは「組み立てること、組み合わせることのまとまりをつくること」とあります。「産学連携」「産産連携」、最近の法律で「新連携」など、当たり前のことですが、組織をつくることに留まらず、「互いに連絡取り合せて、何を行なうのか、目的を明確にすることが大事だと思います。京都には学ぶべき「連携」の成功事例が数多くありますね。

連携大集合・交流広場 (パネルディスカッション、交流懇親会) 参加申込書

FAXの場合は下記申込書にご記入の上、お送りください。

FAX.075-314-7130

●パネルディスカッション(無料)、交流懇親会(有料)に参加希望の方は下記にチェックして下さい。

パネルディスカッション(無料)に参加します。

交流懇親会(有料)に参加します。

フリガナ
出席者 お名前

フリガナ
出席者 お名前

所属
組合名・企業名等

住所

TEL

FAX

Eメールアドレス